

第3回 青銅器づくり

いしさんこうめいたいそううんもんきょう

今回は、「位至三公銘帯双雲紋鏡」という鏡を作成しました（通称「位至三公鏡」）。中国の後漢の終わり頃から作られ、魏・西晋の時代に流行した鏡ですが、南アルプス市長田口遺跡から見つかった鏡の破片が、もしかしたらこの「位至三公鏡」だったかもしれないのです！どんな経緯で中国から九州そして山梨の地へ・・・？想像しながら体験しました。



青銅を流し込む鋳型を自分でつくりました



青銅を流し込むところを見学



あらかじめ用意された鏡を紙やすりで磨きました



鏡面がピカピカになったら完成！